



vol. 8
2017
SPRING

かいはし

桃山学院大学教育後援会だより

特集

◆現在の就職状況・傾向について

14

集

◆熊本地震に寄せて

4



私達と一緒に活動しませんか？

桃山学院大学教育後援会とは保護者の皆様の会です

教育後援会は、保護者・保証人と大学とのかけはしとなり、
お子様の学生生活をサポートするため、
様々な活動を行っています。

只今、一緒に活動していただける方を募集しております。
教育・就職懇談会にて各支部の役員まで、ご連絡ください。
日程については、裏表紙を参照してください。

教育後援会の主な支援内容

- 1 クラブ・サークル活動、ボランティア活動、課外活動等への支援
- 2 国際交流への支援（国際ワークキャンプ、海外研修等）
- 3 教育・就職懇談会開催への支援（全国14支部）
- 4 支部企画による講演会等への支援
- 5 教育後援会経済援助奨学金
- 6 広報誌「かけはし」「ももやま」の発行

C O N T E N T S

1 私達と一緒に活動しませんか？

CONTENTS

2 教育後援会 副会長挨拶「学生生活は、岐点の軌跡」

学長挨拶「地域で、世界で、人を支える」

3 聖書の言葉

第16回「留学生振袖の会」開催

4 熊本地震に寄せて

国際ワークキャンプ（インドネシア）実施30回記念行事開催

5 第56回 桃山祭

第12回 ビジネスプランコンテスト

6 Congratulations!

第7回 ボランティア活動等発表会

2017年度 学年暦

支部だより

7 大阪南／大阪北

8 兵庫／奈良・三重

9 京都・滋賀／和歌山

10 山口／四国

11 広島／北陸

12 山陰／九州

13 岡山

経営学部 朴大栄ゼミ 手帳作成チーム活動報告
チョコッとお国自慢「奈良へようこそ」

14 キャリアセンターからのお知らせ

2017年3月卒 進路状況

編集後記

裏表紙 2017年度 教育・就職懇談会/支部総会日程



教育後援会
副会長 西田 秀治

保護者の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

大学というところは、最高かつ最終学府ですが見方を変えれば、子ども達には束縛のない最後の自由な世界です。したがって、学生生活は十分に謳歌、堪能すべきと思いますが、その一方で備えなければならないことがあります。それは「就職」です。なぜなら、現在の就職活動は企業の即戦力志向、厳選採用等、年々厳しい環境となっており早い時期から意識しておく必要があります。

ただ現在の若者の行動は、我々保護者の世代とは異なり、受身の学生が増加しているとうかがっております。現代社会が求める社会人の第一条件は、「自分で考え自分で行動できる」、「問題意識を持つ」であることに對し憂慮すべき状況となっています。将来の仕事の考えると選択肢を多くし判断していく必要がありますが、それには就活までにやりたいことを見つける。いろんな体験をすることに尽きます。大学には、各種講座・ゼミ、体験型プログラム、クラブ・サークルやボランティア

等が用意されており、まず「行動と活用すること」で自然に学習能力が向上する環境が得られると思います。

また、近年は若者文化であるかも知れませんが、学生が本を読まない傾向にあります。インターネットは、調べたら終わりのことが多く自己の発展・拡大に繋がりにくいし、それを感じることもなく読書の代りにはなりません。重要であるのは自分の興味や関心に同期させた展開ができるかどうかです。本はこの点で擬似体験ができ、やりたいことが見つからないときも発見のきっかけとなり、視野が広がるメリットもあります。

ただし、何事も継続するには意志と努力が必須です。ご家庭からもぜひ、ご子息、ご息女に対し、早い時期から自己啓発に取り組めるようサポート、アドバイスをお願いいたします。

教育後援会は、各クラブ・サークル活動、大学祭、食育キャンペーン、ボランティア活動、海外留学等、様々な学生・大学に対する援助を行い、学生達が充実した大学生活を送れるよう支援しております。また、保護者の立場より大学とご家庭の懸け橋となり、学生の成長を願い大学の発展の一助となるよう活動して参ります。保護者の皆様の益々のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

桃山学院大学 学長 地域で、世界で、人を支える



桃山学院大学
学長 牧野 丹奈子

今日、大学をとりまく社会環境は激変しています。少子高齢化、グローバル化、コミュニティ喪失、情報化、環境問題などはそれぞれ単独で、また、相互に複雑に影響しあいながら、容易には解決できない多様な問題群を社会にもたらしているのです。

このような今日の問題群に対して、これまでのような経済効率性中心のアプローチのみでは解決が容易ではなくなりました。多くの問題は、経済効率性ではなく関係性(つながり)の中でこそ解決できるといえるでしょう。また、関係性の中で、知識を共有し創り出すことこそが新しい社会を切り拓いていくと考えられています。

このような関係性(つながり)に対する社会ニーズの高まりは、キリスト教精神に基づき世界市民を養成する本学にとっては大きなチャンスです。

そこで2016年度、本学の目指す方向を明確に示すために大学のビジョンを設定しました。それが「地域で、

世界で、人を支える」です。この「支える」という意味はたんに一方的に誰かが誰かを支援するというだけではありません。個人が自分の能力と個性を十分に発揮し、様々な人々と関係性を構築し、知識を創り出し共有することを意味しています。

そして、大事なことはビジョンをビジョンのままに終わらせずに、具体的な教育で実現していくことです。実はこれまでも、建学の精神に基づき、地域で世界で人を支えるためのプログラムを多々実施してきました。

たとえば、インドネシア国際ワークキャンプは2016年度に30回目を迎えました。他にも、モンゴルの砂漠で緑化を進めるプログラムなど、いろいろ動いています。世界だけでなく、国内においても、熊本県の地震被災地へのボランティアから地場産業の活性化事業まで、多くのプログラムを実施してきました。また、これらプログラムの多くが専門教育の内容とリンクして行なわれています。

今後も多様なプログラムによって、一人ひとりの学生が人と関係を作り出す力を修得し、地域で世界で人を支える人材となれるような教育に取り組んでまいります。

聖書の言葉

「虹の架け橋」

「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。
これはわたしと大地の間に立てた契約
のしるしとなる。」 (創世記9章13節)

「かけはし」への寄稿ということで「橋」をテーマに書こうと考えましたが、聖書には「橋」という言葉が出てきません。イスラエル周辺の気候は、南部は年間を通じて雨はほとんど降らず砂漠です。北部でも雨季（冬の3～4ヶ月）に少量降る程度です。ですから、イスラエルには有名なヨルダン川のほかにあと数本を除くとほとんど川がありません。雨が降り、流れができることはあっても、すぐに乾くのでワディ（流水のない涸れ川）と呼ばれます。ですから、もともと橋を架けるという考えはなかったのでしょう。

しかし、旧約聖書創世記のはじめには有名な洪水伝説があります。ノアの箱舟の物語です。これはメソポタミア地方起源の物語とも言われます。

地上に人間の悪が増し、常に心に悪いことを思い計るのを見て、神は人間を創ったことを後悔し、彼らを滅ぼすために大洪水を起こしました。そしてノアとその家族、すべての動物の雌雄一つがい

を箱舟に避難させて救い出しました。恐ろしい洪水が終わった後、神は生き残ったノアたちとすべての動物に対し「二度と洪水によって滅ぼすことをしない」と契約を結びました。そしてその「しるし」として空に「虹」を置きました。虹が現れるとき、神はこの契約を思いだすと宣言されたのです。イスラエルの先祖は、天にかかる美しい虹を見て、神と人間の契約のしるしと理解したのでしょうか。私には人間を滅ぼされた神の反省のしるしのようにも思えます。そして、人類を救おうとする神の働きはこのあと、今に至るまで止むことはなかったと聖書は証言します。神と人を結ぶ虹の架け橋には神さまの苦い思いと、人間に対する強い愛の決意が示されているように感じます。



チャプレン
宮嶋 眞

2017年1月7日(土)

第16回「留学生振袖の会」開催

本部 中村 清代満

着物の体験を通して留学生に日本の伝統文化を感じてもらい国際交流をしようとスタートしたこの会も、2017年で16回目を迎えました。国際センターのご協力のもと、宮嶋眞チャプレン、石田易司副学長にもご参加いただき、地域のボランティアや近畿各支部の保護者の皆様のご尽力で、12か国18名の留学生に着付け・ヘア・メイクをしていただきました。能楽仕舞「高砂」や茶道部によるお点前もあり、総勢105名の皆様が一堂に会して、本学の建学の精神である「世界の市民」を実感した1日となりました。



振袖の会に参加して

大阪北支部 高岡 友子

教育後援会の役員のお話をいただいて、初めてこのようなイベントがあることを知りました。着物を着る機会が少なくなっていることもあり、留学生が振袖の体験を通し、日本の伝統文化に触れるという企画があることにとても驚きました。参加された留学生の方が、「一度でいいから振袖を着てみたかったの、とても嬉しかったです」と笑顔で話されている姿を見て、振袖の会に参加できたことを嬉しく思いました。



熊本地震に寄せて

熊本地震報告

九州支部 飯開 輝久雄

2016年4月14日午後9時26分、私はシャンプーの真っ最中。違和感を覚えながら、髪を洗っていると、妻の叫び声！「地震よー！」湯船のお湯は大きく揺れる。なすすべもなく、やっと風呂から出ると、テレビはすべて緊急地震速報。夫婦でテレビの前で立ちすくむことしかでき



なかった。とりあえず、我が家は鉄骨だったので、潰れる心配はなかったが、両方の実家は木造築50年。ラインで連絡がとれ、まずは安堵。余震に震えながらも何とか翌日業務について、「あとは徐々

に収まる」という意識でその日は午後11時ごろ就寝。

午前1時25分、「カッカカッ」という家具や家の柱が揺れ動く轟音に目が覚め、その音が時には大きく、時には小さく2分以上続いたであろうか。この時ばかりは命の危険を感じ、ベッド横にある大きなタンスを倒れないように押さえることしかできなかった。やっと揺れが収まり、家の中は足の踏み場もない状態。その後、水が出ることを確認し、湯船に水をため、そのまま倒れた塀等を横目に出勤。そこから復興業務が始まった。

熊本は地震が少ない…そんな話が昔からあったが、ある地質学者の言葉によれば「日本列島はプリンの上にあるようなもの」。私たちは、そこで暮らしている。

ところで「地震保険」には2つ良いことがある。

①生きてる間に地震がなかったら「地震保険」を使わなくて「良かったね」。②生きてる間に地震があったら「地震保険」に入ってた「良かったね」。今回の体験から得た私の結論である。

熊本地震復興支援ボランティアを通して感じたこと

社会学部4年生 中嶋 庸介

私は本学で募集があった熊本地震復興支援ボランティアに第1陣のメンバーとして参加、阿蘇YMCAのキャンプ場に設営されていた災害ボランティアセンターを拠点として活動をしました。

私がボランティア活動で一番印象に残っているのは阿蘇YMCAで開かれた「阿蘇こどもフェスタ」の企画運営を行ったことです。

被災地の子ども達は通っていた学校が避難所などに指定されて登校できず、外で満足に遊ぶことができない状態でストレスが溜まっているとのことでした。また大人の方は、今後の生活についての不安などを抱えながら、子どもの世話や衣食住の確保など心配事が溜まりストレスを感じているとのことでした。そこで、私達のような

学生ボランティアが「阿蘇子どもフェスタ」などのイベントを企画し、少しの時間でも心が安らぐことのできる機会を提供したいと考えようになりました。

子ども達には日ごろのストレスを発散できるように思いっきり体を動かせるようなプログラムを企画し、また学校で会うことができなくなり離れ離れになってしまった友達と再会して遊べる機会にも繋がればと考えていました。大人の方には少しの時間ではありますがご自身のケアや休息を取れる時間と場所を提供することが大事であると感じました。

私は今回のボランティアを通して、私達のような子どもと大人の間である世代が中心となり活発に活動を行うことが私達のできることであったと感じました。



国際ワークキャンプ(インドネシア) 実施30回記念行事開催

2016年11月5日(土)

本部 羽山 春美

本学の豊富な国際体験プログラムの原点である国際ワークキャンプ(インドネシア)は、1987年に始まり、2016年に30回目のワークキャンプを実施することができました。これを記念し、チャペルにて実施30回記念行事が開催されました。

当日は130名あまりの方々が来場され、記念式典、第30回国際ワークキャンプ参加学生による報告会、記念シンポジウムが行われました。記念行事終了後、聖バルナバ館にて記念の集いが催されました。在学生、OB・OG、歴代チャレン、教職員など多数の関係者の方々が参加され、当時の思い出話や近況報告もなされて和やかな交流の場となりました。



教育後援会では、ワークキャンプに対して毎年、援助を行っています。

第56回 桃山祭

無料休憩所

大阪南支部 池側 浩正

3日間の日程で開催された桃山祭。最終日はあいにくの曇り空で、少し肌寒い気候の中での開催となりましたが、天気とは反対に学内は、例年以上に学生たちが発する熱気に包まれていました。

2016年も恒例となりました大阪南支部北支部合同での無料休憩所を、大学チャペル前の特設テントにおいて開催しました。桃山祭を訪れた500人以上の方々に温かいお茶とお菓子を提供し、癒していただきました。

来年もチャペル前にて開催する予定です。桃山祭に来られた際はぜひお立ち寄りください。



島田洋七氏講演会

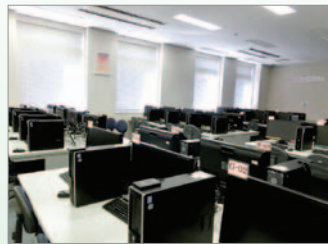
「笑顔でいきんしゃい」

大阪南支部 原山 道子

著書「佐賀のがばいばあちゃん」が、1,000万部を超えるヒット作となった島田洋七さんの講演会「笑顔でいきんしゃい」が開催されました。失意・復活・栄光・挫折を繰り返す人生の中で、健康と食事には特に気を使われているようで、今でも佐賀のご実家ではお米を薪で炊いていらっしゃるそうです。講演の中で話されていた「人間は何があっても生きる術をもっている」「人生は失敗してもやり直せる」「人間は完璧でないから楽しい」、これらの言葉は私の心に深く残っています。終始島田さんの話に皆が引き込まれ、笑いが絶えませんでした。とても素敵な時間を過ごすことができました。

キャンパス見学

兵庫支部 高木 桂子



桃山祭でにぎわう中キャンパス見学に参加しました。聖アンデレ館にある図書館は全館開架方式で73万冊の図書を配架し、試験前には資料を探しに行く学生や、勉強する学生が多いようです。AVルームは最近の映画が見られることから学生に人気です。聖トマス館にある情報センターはパソコンの基本操作に困った時にスタッフが教えてくれるのが魅力と感じました。総合グラウンドには全面人工芝のサッカー場や400mのタータントラック、また総合体育館には本格的なトレーニングマシンや温水プールなど様々な設備が整えられ、体育会系クラブからも環境が最適と評判だそうです。他にも大学には茶室「翠泉庵」や模擬裁判所などがあります。

学生が素敵な環境に恵まれ、キャンパスライフを謳歌していることに感謝しました。



2016年11月5日(土)

第12回

ビジネスプランコンテスト

京都・滋賀支部 中路 敏之

晴天に恵まれた桃山祭の5日(土)、2-301教室にて開催されました。このコンテストは、大学が主催し同窓会並びに教育後援会が後押ししております。アイデアの面白さ、アイデアの具体性、プレゼンテーション能力。この3つの項目が審査のポイントです。

元気いっぱいの学生達がそれぞれ工夫をこらし次々に発表、中には特別審査員の方から厳しい質問や意見をいただき学生が謙虚に聞き入ってしまうシーンもありました。

学長賞は、社会学部3年生 溝渕杏さんの「献立カレンダー」。グループ発表が多い中、彼女は一人で発表し明るく度胸満点でした。何より誰が見ても楽しく発表されている姿が印象的で、栄えある賞が授与されました。



ビジネスプランコンテスト結果

【学長賞】

溝渕 杏 (社会学部3年生)

「献立カレンダー」

【同窓会会長賞】

New Challenge (国際教養学部2年生)

「学生運営団体“New Challenge”」

【教育後援会会長賞】

藤本 典子 (国際教養学部2年生)

「HeartでHardを変える」

【審査員特別賞】

櫻井ゼミ E (経済学部4年生、経営学部4年生)

「St.Andrew's Wide」

【敢闘賞】

New☆Star (経済学部4年生、経営学部4年生)

「幅広い世代の始めるきっかけ桃山教室」

櫻井ゼミ C (経済学部4年生、経営学部4年生)

「学生アルバイト情報掲示板&エルダー制度(アルバイト支援)」

チームMINI (経済学部4年生、経営学部4年生)

「桃山学院大学で教室を開こう」



Congratulations!

3月17日(金)、2016年度卒業証書・学位記授与式が、また4月3日(月)、2017年度入学式が、総合体育館メインアリーナにおいて執り行われました。厳かな雰囲気の中、保護者をはじめ来賓、大学関係者等大勢の方々に見守られ、挙行されました。卒業生、そして新入生の皆さん、自分の夢に向かって新たなステージでがんばってください。



2016年12月17日(土)

第7回 ボランティア活動等発表会

本学チャペルにて開催され、4団体の発表がありました。その一部をご紹介します。

1. インド異文化・ボランティア体験セミナー

宗教の共存や貧困など、日本では感じることでできない問題を目の当たりに体験しました。今までの人生や私の存在について考えさせられました。

2. 内モンゴル緑化ボランティア体験セミナー

2006年より中国内モンゴル自治区にて砂漠化したエリアの緑化活動を行っています。

2016年は11日間5名の学生が参加し、累計186名となりました。平和学習を通して戦争の悲惨さを知り歴史を学ぶ必要があると思いました。

3. 国際ワークキャンプ(インドネシア)

2016年実施30回の記念式典が行われ、児童養護施設ではボランティアワークとして石垣作りに取り組んだり、日本食パーティーを開いて子ども達と交流したりしました。高等学校では日本語授業にかかる等で日本文化を紹介しました。

4. 平成28年熊本地震復興支援ボランティア

2016年4月に発生した熊本地震。12月17日現在のべ64名の学生が被災地で主に農業支援や瓦礫の撤去作業、子ども達の心のケアなどの活動をしました。まだまだ支援が必要であり、継続してボランティアに参加していきたいです。



学生達の貴重な体験は生涯の宝となり、今後の人生にきっと活かされることと思います。

最後に石田易司副学長より「ボランティアは誰かのために何かをする、それが結果的に自分に返ってくるウイン-ウイン(win-win)の関係。学生達がとてもいい体験をしていて喜びであります」と講評をいただきました。

2017年度 Seasons Schedule

春学期

4月 3日(月)	入学式
4月 4日(火)	新入生オリエンテーション
4月 5日(水)	春学期授業開始
4月 5日(水)～11日(火)	春学期履修登録
4月15日(土)	創立記念日(休講)
7月24日(月)	春学期授業終了
7月25日(火)～8月1日(火)	春学期末試験
8月 2日(水)	夏期休暇開始
8月 2日(水)～25日(金)	夏期集中講義期間 (学院一斉休暇期間を除く)
8月 4日(金)～5日(土)	春学期末追試験(予定)
9月20日(水)	夏期休暇終了

*変則授業のため休日を下記のように変更します。

(体育の日)	10月 9日(月) → 11月16日(木)
(文化の日)	11月 3日(金) → 11月20日(月)
(勤労感謝の日)	11月23日(木) → 1月13日(土)

秋学期

9月21日(木)	秋学期授業開始
9月21日(木)～27日(水)	秋学期履修登録
9月23日(土)	9月卒業証書・学位記授与式
11月17日(金)～19日(日)	大学祭(休講)(予定)
11月24日(金)	聖アンデレ日礼拝
11月25日(土)	学院逝去者記念礼拝
12月 7日(木)	クリスマス礼拝
12月25日(月)	冬期休暇前授業終了
12月26日(火)	冬期休暇開始
1月 5日(金)	冬期休暇終了
1月 6日(土)	冬期休暇明け授業開始
1月22日(月)	秋学期授業終了
1月23日(火)～30日(火)	秋学期末試験
2月 5日(月)～6日(火)	秋学期末追試験(予定)
3月16日(金)	卒業証書・学位記授与式

支部だより

大阪南支部

支部長 池側 浩正



就職講演会

2017年2月11日(土) 池側 浩正

今年も、大阪南支部主催の「就職講演会」を本学において開催しました。

当日の天気は雪の予報もある中で、幸いにして開催時間の午後2時頃にはときおり晴れ間ものぞくような状況に恵まれ、結果として聴衆で大きな会議室が満席になるほどの170名以上のご参加をいただき、開催することができました。

今回は就職講演会原点回帰の年と位置付け、山口洋司キャリアセンター事務課長補佐を講師としてお招きし、「最近の就活の傾向と対策について」と題してご講演いただきました。「昨今の就職率は改善してお



り本学も就職率は平均よりも高い値で推移している状況であるが、良い波に乗れる学生とそうでない学生とがいる。企業もインターンシップなどの機会を利用して良い学生を早い段階で選抜している。スタートの早い学生はいくつもの内定を得られるが、そうでない学生は内定を得にくい状況も生まれている」。就職への高い意識を持ち、早い段階でのインターンシップ参加が、内定獲得の近道であることなどを分かりやすくご講演いただきました。

次に、学生による就職活動の体験談で、大手企業に内定された経済学部4年生 井上宗典さんより、熱く成功体験を語っていただきました。

企業は知識やスキルが高い学生を欲しているのではなく、本人の誠実さや前向きな姿勢を評価して採用しているのだということが、彼の講演を聞くことにより、しっかりと実感することができました。

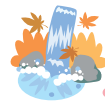
来年度以降もテーマや視点を換え、このような就職講演会を続けていきたいと思えます。

ちょっとプチ紹介!

大学周辺にはたくさんのスイーツのお店があり、地元でも有名なスイーツの激戦区として知られています。大学にお越しの際はぜひお立ち寄りいただき、周辺を散策しながらお好みのお店を探してみてください。

大阪北支部

支部長 池田 哲也



キャリアセンター講演会

2017年2月4日(土) 藤井 ひろみ



恒例となりました北支部講演会を桃山学院高等学校で開催しました。高校PTAの皆様にも教育後援会の取り組みを知っていただきたく、ご参加をお願いし来場いただきました。

当日は、キャリアセンターの星川大祐氏を講師にお迎えし、「就職活動」における具体的なお話をさせていただきました。その一部をご報告いたします。

就活の第一歩は、面接を受けることからだとすれば、エントリーシートの書き方が重要。

<エントリーシートの書き方>

いかに要領よく、自分をアピールするか

- 私(主語)は、なぜ(動機)御社に入りたいのか
- 私は在学中どんな(行動)学生生活を送ってきたか

学業・クラブ活動・アルバイト・旅行(冒険)...

- その結果どんな人間になったか、なり得たか、なりつつあるか等々...

主体性のある自分をアピールする。

<筆記試験準備・対策>

新聞を毎日欠かさず、隅から隅まで読む。当然テレビのニュース番組も。もちろん、読書も...

政治・経済・文化・社会情勢など 一般社会人として誰もが知っていること、誰とでも、どんな方面の話題にでも、ついていける常識を備えること。

等々...をお聞きし、保護者にとっても有益な時間を過ごすことができました。

以上、教育後援会活動の一部のご報告ですが、大和川以北の大阪市と府下の各市から本学に在学中の学生の保護者の皆様、大学生活をバックアップする教育後援会の活動にご参加いただける方を募っています。ぜひ!!ご参加お願いします。

ちょっとプチ紹介!

毎年4月29日「昭和の日」に、地下鉄御堂筋線昭和町駅周辺で「どっぷり昭和町」というイベントが開催されます。駅周辺と桃ヶ池公園そして、桃山学院高校と同窓会館も会場となります。散歩がてらぜひ一度参加されてはどうでしょうか。

兵庫支部

支部長 塩川 庸子



就職支援講演会

2016年12月3日(土) 塩川 庸子

本学梅田サテライトにて、開催いたしました。

初めに、石田易司副学長より、「大学教育とキャリアデザインについて」をテーマにアクティブラーニングの大切さや、社会人基礎力には、何が必要かを軽快なリズムで分かりやすくご講演いただきました。各種サポート体制も充実しており、学生のやる気があれば、いろいろなことに取り組むことができることや、ゼミでの取り組み・活動なども紹介していただきました。

次に、キャリアセンター事務課 松本雄一氏より、「最近の進路状況や就職活動について」をテーマにご講演いただきました。売り手市場であることや人間性重視、コミュニケーション能力や表現方法により明暗が分かれる現状、11月11日現在で73%の内定率(昨年同時期より8.3%アップ)であることなどをお聞きしました。参加された保護者・学生共に熱心に耳を傾けておられました。

最後に、社会学部4年生 垂水佑樹さん・経済学部4年生 藤井元翔さんより、就活に対しての取り組み方・悩んだこと・内定を勝ち取るまでの葛藤などお話しいただきました。梅田サテライトについては、立地

条件の良さと、先生方の対応が大ききな励みになったこと、さらに保護者にしかできないサポートについても教えていただきました。

参加された方からのアンケートでは、「キャリアセンターについて良くわかった」「充実している」「学生さんの体験談はとても参考になる」「知らなかったことを聞くことができよかった」「保護者の心構えを知った」などのご意見をいただきました。来年度は、学生の方にも、もっと参加していただき、就活についての意識を高めるきっかけを作っていきたいです。



ちょっとプチ紹介!

宝塚大劇場近くにアメリカから日本初上陸のカフェが昨年秋にオープン。連日、多くの人で賑わっています。芸能人に会えるかも…。近くに来られた際は、ぜひお立ち寄りくださいね。

奈良・三重支部

支部長 森本 美貴



就職支援講演会

2016年11月19日(土) 森本 美貴

支部特別行事として、橿原市のすみれホールにて開催しました。

最初にキャリアセンター 前澤曉課長から2016年3月卒業生の就職状況および4年生の就職状況と環境についてご講演いただきました。インターシップ実施企業が10%増えたこと、また各企業の選考ポイントや求める人物像等について、さらに4年生については、売り手市場ではあるが学生(お客様)意識から社会人への意識改革が必要不可欠とのお話がありました。

次に経済学部4年生 井上宗典さんより、就職活動の体験談を話していただきました。成績よりも就職したいという熱意を伝える、自分自身をよく知る、また、どれだけ早く就職活動を始めるかということ、最後まであきらめないことが大切とのお話がありました。

最後に奈良新卒応援ハローワーク職員 藤原理氏より、詳細な資料をもとに新卒者及び奈良県の就職の現状についてご説明いただきました。求職者に寄り添うハローワークの姿勢が印象的でした。

当日は全部で29名のご参加を得て、無事に終わることができました。講師並びにご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

ご挨拶

森本 眞弓

役員というのは名ばかりで力不足ですが、子どもが縁で知り合いになれて私も学生気分に参加しています。親子ともども楽しんでいきたいと思っています。

山本 五十鈴

この度、役員をさせていただくことになりました。大学はどのようなものかと思っておりましたが、親子とも、色々な行事に参加させていただき勉強していきたいと思っています。熱心な役員の方々にお誘いしていただいたことを感謝しております。微力ながら頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

桃山祭見学に行ってきました!

2016年11月6日(日)



支部だより

京都・滋賀支部

支部長 中路 敏之



第5回 就職支援講演会

2017年2月11日(土) 中路 敏之

京都・滋賀支部の特別行事として、就職支援講演会をキャンパスプラザ京都において開催しました。現在、就職活動を行っている学生、これから始めようとする学生、その両方の保護者に向け、情報の発信をしたいと思い企画しました。

第1部では、井田憲計副学長から「大学の現状と今後の方針」というテーマでご講演いただきました。

本学の課題や教育改革、中期計画の策定等について触れられ、「地域で、世界で、人を支える」人材の育成をめざして取り組んでいくとお話がありました。また、2018年4月スタートの桃山学院教育大学についてお話しいただきました。

学生、教職員そして保護者が一丸となって学院の発展を祈念したいと思います。

第2部では、キャリアセンター 前澤曉課長より「大学の就職支援体制と就職活動状況について」をテーマに、ご講演いただきました。キャリアセンターでは種々のキャリア支援がなされており、たとえば企業からOBや人事担当者を招いて企業の特徴や仕事内容の話を聞く機会も設けられているようです。学生にとっては大変メリットがあり、どんどん利用してもらいたいと思います。

第3部ではキャリアコンサルタントの大槻久美子氏



より「親の心の持ち方・ストレスとの付き合い方」について、お話しいただきました。現代社会では誰もがさまざまなストレスを持っているが「ストレスは人生のスパイス」。無いより少しはある方が体には良いとの事でした。

会場の保護者の方や役員OBも熱心に耳を傾けておられたのが印象的でした。各講師の方々のわかりやすく丁寧な説明が全員の心に響き、大変有意義な一日になりました。

ちょっとプチ紹介!

琵琶湖から流れる河川は瀬田川のみ。その流れに沿って宇治方面に行けば山に向かって湖水が流れ宇治川、淀川と名を変え大阪湾へと至ります。



和歌山支部

支部長 嶋本 圭志



第7回 就職支援講演会

「ももやま・わかやまのつどい」

2017年2月26日(日) 嶋本 圭志

和歌山支部活動の一環で保護者と学生を対象に和歌山J Aビルにて開催しました。県内各地より38名の皆様の参加がありました。

講演会では、4名の講師の方々に各15分のご講演をいただきました。ジョブカフェ和歌山統括コーディネーター 高幣武嗣氏からは就活をするのに何を準備しておくといふか、キャリアセンター事務課員



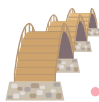
堀井由貴恵氏からは大学の就職状況についてお話をいただきました。続いてNTTビジネスソリューションズ株式会社に内定された法学部4年生 酒元祥さんから、就活の体験談を話していただきました。最後に和歌山の企業から、現在同窓会和歌山支部で支部長をされています、株式会社湯の国代表 羽畑信孝氏より、企業ではどのような人材を求めているか、お話をいただきました。

講演のあとは、4グループに分かれ、グループディスカッションを行ないました。4名の講師の方々には、各々10分間で交代し各グループを回っていただきました。グループディスカッションでは活発に質疑応答がなされ、普段聞けないような質問でも講師の方々が一つ一つ丁寧に答えてくださいました。

講演終了後、参加者からは「就活を始める前に何をすればよいのか不安であったがこの講演会に来て話を聞いて気持ちが楽になった」「就活の流れがわかって良かった」などの感想をお聞きすることができました。講師の方々には大変お忙しい中、快く講演の依頼を引き受けていただきありがとうございます。

山口支部

支部長 廣實 みち代



支部活動を通して

この度、2年ぶりに講演会を開催しました。山口支部は少人数で、家庭的な支部をモットーに活動して参りました。今回も保護者の関心のあることは何かを役員で話し合い、テーマを決め、1本はキャリアセンター 永嶺敦史氏に「近年の就職状況」と題してご講演いただきました。ふだん大学との接点のない保護者の方は、大学の現状を知る良い機会になったと思います。もう1本は、現役学生に就職活動での問題点等体験談をお願いしたところ、社会学部4年生 藤山達彦さんが快く引き受けてくださいました。彼の堂々とした発言一つ一つに好感が持て、就職に対する意気込みも深く感じ取れました。保護者の質問にも、丁寧に答えていただき、充実した2時間を過ごすことができました。

私自身も息子の卒業で支部を去ることになりますが、支部の方々の支えがあったからこそ、4年間活動してこれました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからますます山口支部が盛り上がっていきますようご支援宜しくお願い致します。



山口支部への想い

藤山 優子

息子が親元を離れ、入学したのがもう4年前。この間に一人暮らしの苦労も経験しながら、学業や数多くの友人、先生との出会いを通じて実りある大学生活を送ったようです。そして、私も副支部長として4年間、支部の皆様と楽しく活動させていただきました。少人数だからこそ味わえる交流ではなかったかと思います。おかげで親子の絆も深まり親としても成長できたように思います。大学をはじめ皆様に感謝申し上げます。

講演会に参加して

辻野 光江

社会学部4年生 藤山達彦さんによる就活体験談の面接時の心構えなど、素直で明るくハキハキとした発表に皆さん感心して耳を傾けておられました。就活を控えた1・2年生の保護者の方達は熱心に質問され活気ある講演会になったことに感謝しています。これから社会人として良い人間関係を築かれることをお祈りしています。

～講演会に参加された保護者の方々のご意見～

- ・現役4年生の実体験を聞けて、就職活動に対して気になっていた事も丁寧に答えていただき、とても参考になりました。参加して良かったです。
- ・大学のことが良く分かり、親近感を感じました。学生の為の制度も充実しており、有意義な学生生活を送って貰いたいと思いました。有難うございました。

四国支部

支部長 石田 洋子



キャンパス見学に参加して

2016年11月5日(土) 石田 洋子



キャンパス内を見学させていただきました。

特に印象に残ったのは、73万冊の本をストックしてある図書館です。いろいろなテーマやトレンドごとにコーナーやブースを設けていて、素敵なレイアウトになっていました。また、ハードもソフトも充実のAVルーム。DVDをみんなで見たり、グループディスカッションをしたりもできます。広いスペースを確保している桃大だから、誇れる場所だと思いました。各部活動の部室や体育館、プール、サッカー場なども、見学

快晴の空のもと、桃山祭にてキャンパス見学に参加しました。7名の四国支部会員の方々と一緒に、広い大学のキャン

パスを見学させていただきました。

チャペル、聖アンデレ広場、並木道。どこも素敵なスペースで、ゆっくり雰囲気を楽しむことができました。この素晴らしい環境で、人生の有意義な4年間を過ごせる子ども達は、本当に幸せだなと感じました。会員の皆様、ご参加いただきありがとうございます。

キャリア支援講座を開催

2017年2月26日(日)



支部だより

広島支部

支部長 西本 幸夫



ご挨拶

西本 幸夫

2016年7月の支部総会でご指名いただき、支部長をさせていただきます。

広島支部の会員は、現在56名です。県内を縦半分に、東部地域と西部地域に分けるとそれぞれ半数ずつの構成です。支部役員は、顧問を含めて6名で運営しています。支部の行事として、6月か7月開催の総会と例年12月に講演会を開催しています。

私の娘は、経営学部3年生です。就職や成績について心配です。支部総会には、1年生の時から参加させていただいており、同時に行われる教育・就職懇談会では娘の成績や大学における就職状況の説明を詳しく知ることができます。「娘ももう大人なんだか



ら自分の道は自分で解決しろ」とは思いますが、知り得た情報を娘に確認したりしています。心配だから色々な情報を知りたいと思います。保護者の皆様共通の思いではないでしょうか。それをこの教育後援会の支部活動で皆様と共有したいと思います。

子どもを通じて得たこのご縁を大事にしていきたいです。

就職支援講演会

2016年12月4日(日) 西本 幸夫

初めて広島市以外の都市福山市にて開催しました。最初に本学同窓生で広島県商工労働局「ひろしまごと館」アドバイザーの杉田勝利氏から離職しないための就職活動についてご講演いただきました。自己分析とインターンシップの活用のお話が、参加された皆様の心に響いたようでした。

キャリアセンター 堀井由貴恵氏からは大学の現状や桃大生の特徴をお話いただき、呉市出身の国際教養学部4年生 福森可奈美さんと、就活についてディスカッションしていただきました。他にも福山市在住の保護者の方が飛び入りでご息女の就活の話をしてくださり、親子の会話の大切さやキャリアセンターの真剣な取り組みに対する感謝の気持ちを述べられました。質疑応答では、インターンシップの時期等について質問もなされ、今までにない保護者参加型の講演会となりました。

北陸支部

支部長 上野 和人



保護者交流会「称名滝」散策

2016年8月7日(日) 上野 和人

北陸支部では2015年度から支部の発展に資するため、保護者交流会を開催しています。2016年度は8月に富山県は立山(たてやま)の麓にあります「称名滝(しょうみょうだき)」周辺の散策を実施して交流を行いました。企画と案内は地元にお住まいで山をこよなく愛していられる北陸支部 園川副支部長にお願いしました。今回は気軽に沢山の方が参加し易い様にとの趣旨でしたが、残念ながら参加者はごく少数となりました。開催当日は真夏日で山に向かうには絶好の日よりになりました。以下簡単に感想などを交えてご報告いたします。

目的地には車で向かい、道中の小休止では溪谷の沢に降りて川を間近に見て爽快感を味わい、気分が高揚するのを感じながら川沿いの道を進みます。途中、溪谷の対岸に「悪城(あくしろ)の壁」が現れ、見たことのない光景に車から降りて写真を撮りながら、改めて非日常を実感しました。そして最寄りの駐車場に到着。ここからは30分程度、遊歩道を歩いて向かいます。所々勢よく流れ出ている山水で給水し、子ども達の近況などについて話に花を咲かせていると、

徐々に谷が狭くなり滝壺が見えてきました。川を渡る橋の上では滝から下りてくる涼風と滝しぶきがかかり寒いくらいで、マイナスイオンに包まれているようでした。展望台で滝の写真を撮って周辺を散策した後、食事をして解散。子ども達のこと話で話が尽きず、名残惜しくもありましたが帰路につきました。ご案内いただいた園川さん、参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。お陰さまで楽しく充実した1日になりました。

北陸支部の皆様、つたない感想文ですが「称名滝」の魅力、少しは伝わりましたでしょうか。ぜひ、お子様やご家族と滝に癒されに出かけてみてはいかがでしょうか。



山陰支部

支部長 美柑 貢

支部行事報告

美柑 貢

山陰支部では、2016年11月にふたつの支部行事を行いました。まずはじめに大学祭期間中の6日(日)に行ったのがキャンパス見学会です。チャペル前に集合したのですが、本部役員や世話役の方々が温かく迎えてくださり、大学までの往路の疲れも吹き飛びました。記念撮影の後、大学職員の方の案内で各施設を見て回りました。最初に行ったのは聖アンデレ館です。ここには図書館があり蔵書数は73万冊、その本の多さに圧倒されました。次に聖トマス館、コンピュータ実習室があります。ここを含めて大学全体ではナント1,000台のパソコンがあるとのこと、さぞかし管理も大変だろうと思いました。少し離れて総合体育館。プールやトレーニングルーム、各道場があります。道場では学生らの汗の匂いととも、その練習風景が思い浮かぶようでした。最後は聖ヨハネ館、おもに留学生らが使用するそうです。今回の施設見学では見学マップが用意され、どこを回っているのかとても分かりやすかったです。

19日(土)には、鳥取県米子市の国際ファミリープラザを会場に、羽山春美本部役員にも同席いただき就職支援講演会を行いました。最初に約1時間、キャリアセンター事務課 奥健太氏より「大学の就職支援体



制と就活状況」と題して講演をいただきました。2016年度の企業の採用状況、就活に向けて学生がどのような活動をすればよいとお話をいただきました。

次に法学部4年生 鍋谷宙志さんより就職体験発表がありました。就活をした学生ならではの貴重な体験談を聞くことができとても参考になりました。

最後に、ふるさと鳥取県定住機構職員 中元淳子氏、ふるさと鳥根定住財団 中澤雅美氏より就職活動支援の説明がありました。

就職支援講演会も今年度で2回目、多くの方にご協力いただき無事終えることができました。ありがとうございました。

九州支部

支部長 飯開 輝久雄



「目標目的を持った学生生活を」 ～教育・就職サポート講演会

2017年1月29日(日) 飯開 輝久雄



ホテルレオパレス博多に於いて九州支部主催により、開催しました。

まず、福岡労働局職業安定課若年雇用対策 櫻木慎哉係長より九州管内の大学生の就職状況の報告や課題があげられ、「企業は何をしてきたかではなく、どういう目標目的をもって学生生活を過ごしたかを重

要視します」と訴えられました。

続いて、石田易司副学長、嶋田剛大学統括部長、キャリアセンター事務課 永嶺敦史氏より、学生の現状や就職活動におけるポイント等をご報告、ご提案いただきました。特に石田副学長からは、2018年4月始動予定の桃山学院教育大学について報告がありました。私達保護者も新たな教育の場の創設に今後の本学の発展を祈念したいと思います。

最後に国際教養学部4年生 岩田将大さんから、就活体験談として「アルバイトでは損益計算等をして、売りに上げに貢献するという目的をもって働いていた。それを面接でアピールしたことが採用につながった」と具体的な就活のお話をいただき、保護者の方々も真剣に聞いておられました。

九州在住の保護者全員からすると少ない人数ではありましたが、今後も一人でも参加者が増えるよう呼びかけを行いながら、子ども達の状況把握や保護者同士の交流を目的に、継続的にこのような活動を実施していくことが重要であると再認識できた講演会となりました。

支部だより

岡山支部

支部長 矢吹 仁美



教育・就職懇談会／岡山支部総会

2016年7月2日(土) 矢吹 仁美

アークホテル岡山にて、大学関係者皆様方のご臨席をいただき、開催されました。

開会挨拶(出席者紹介)、橋本敬二(前)支部長挨拶の後、井田憲計副学長より本学の教育方針と現状についてお話いただきました。続いて山田伊知郎教務委員より単位履修と成績について、履修登録から成績発表までの流れや成績表の見方等を中心に説明がなされました。支部総会と昼食をはさみ、午後からは、キャリアセンター事務課 松山智樹氏より「最近の就職事情と本学の現状等について」と題し、本学の就職状況、2017年卒業生の就職活動、また本学の就職支援体制や保護者ができる支援・サポート等について、説明いただきました。その後個人別成績面談や個人別就職面談等も行われました。

教育方針と現状、学生達の就職・採用活動の動向な

どをわかりやすく説明いただきました。参加されていた保護者の方々、特に新入生の親御さん達には、今後の学生生活の支援などに役に立つ事が多かったのではないのでしょうか。今後も、このような貴重な機会を活用されるように、もっともっと多くの方達に参加していただければと思うところです。



経営学部 朴 大栄ゼミ 手帳作成チーム活動報告



朴ゼミ手帳作成チームは教育後援会様のご支援のもと、学生手帳と就活手帳を作成・配付しております。

本活動は2012年の学生手帳から始まり、翌年には就活手帳も追加、毎

年、利用者増を目標に、外観および使い易さの改善に努めています。以前の学生手帳はほとんど使用されていなかったため、当時の教育後援会会長様より朴ゼミに対して手帳作成依頼のあったことがきっかけでした。

活動は学生アンケートから始め、意見交換をしながら改善を行います。作成上の苦労は、アンケートの実施、チーム内の多様な意見のとりまとめ、作成期間の短さの3点です。

今回は学生手帳がデザイン性と機能性、就活手帳がスケジュール欄の拡大、メモ欄の増加等に重点をおきました。

この活動で学んだ事は市場ニーズ調査とチームワークの大切さです。社会に出ましたら、市場調査等の徹底、チーム活動の調和、新製品・新市場の開拓などにこの経験を活かしていきたいと考えております。



学生手帳チーム(経営学部3年生)

森 美月 上野 真佳
山本 拓海 三浦 力

就活手帳チーム(経営学部4年生)

西 将慶 白川 雅子
角皆 奈月 村井 静香

チョコッとお国自慢

「奈良へようこそ」

奈良・三重支部 森本 眞弓



奈良県は奈良市にある東大寺の大仏さんが全国的に知られています。しかし、あえて今回は奈良市より、ちょっと南方にある明日香村を紹介したいと思います。

明日香村には「日本書紀」にも記述のある日本最初の本格的寺院「飛鳥寺」があり、そこには現存する日

本最古の仏像とされる本尊の釈迦如来坐像「飛鳥大仏」があります。1400年以上の歳月を経てもなお同じ境内に祀られています。

目に見える建造物ばかりではなく、極彩色の古墳壁画として名高い高松塚古墳の美人群像の壁画、最近ではキトラ古墳の方角を司る四神、天文図、動物の頭、人間の体を持った十二支などの壁画が確認され、体験館として見学できる施設があります。村内には、国営の歴史公園が5カ所もあり1日では回りきれないほどです。

まだまだ明日香村には、紹介したいスポットがたくさんあります。一度来てみて1300年前の時代にタイムスリップしてみませんか!!



キャリアセンターからのお知らせ

現在の就職状況・傾向について

2017年3月卒業生の就職活動環境ですが、日本経済団体連合会の倫理憲章が前年に3月広報解禁・8月選考開始へと改定されたことにより、就職活動の長期化や企業の採用充足率低下などのデメリットが表面化しました。その結果、企業情報の広報開始は3月のままで選考開始を8月から6月に繰り上げるといふ、僅か1年での再改定となりました。

大学に届く求人票の総数は4年前に比べ倍増するなど企業の採用意欲は強く、6月の選考解禁までに選考をスタートさせた企業が約5割、内定を出した企業が約4割と倫理憲章の採用選考に関する指針を遵守せず、早期に選考を開始する企業が続出しました。

学生にとっては、3年生の夏休み以降インターンシップを開催する企業が増加した事により、早くから職業観の醸成をはかる事ができました。春先から選考を行う企業の選考を受けることでスキルを磨き、本命企業の選考に臨む学生が増えた事で毎月の内定率も昨年度を上回る結果となりました。早期から就職活動を意識して行動してきた学生の多くは、4年生の夏休み前に就職活動を終えており、一人当たりの平均内定獲得社数も年々増加して、いわゆる「売り手市場」が続いています。

しかし、企業は採用に関して一定のハードルを設けており、そのハードルは下げない為、1年以上就職活動が続けている学生も存在します。

内定を多く貰う学生には、①大学生活を前向きに過ごしている ②自分で考えて行動している ③当たり前の事が当たり前にできている、などの共通した特徴が見られます。

また面接では「自己PR」や「大学生活で頑張ったこと」「ゼミでの学び」について聞かれる事が多いのですが、漫然と

学生生活を過ごしてきた学生は苦戦しており、そういう意味では大学生活の過ごし方が問われているといえます。

西日本電信電話株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、ANAホールディングス株式会社といった人気企業や、株式会社エクセディや不二製油グループ本社株式会社などBtoBの優良企業にも内定者が出るなど、しっかりと準備してきた学生にとっては恵まれた就職環境であったといえます。

最終的な内定・就職率については現在調査中ですが、3月末現在では昨年度を上回る結果となっています。

2018年3月卒業予定者の就職活動スケジュールは、昨年度と同じ3月広報解禁・6月選考開始となりました。2月に和泉キャンパスで開催した決起大会や、3月に梅田サテライトで連日開催した企業説明会には多くの学生が積極的に参加してくれました。企業は採用数を「増やす」という企業が「減らす」を上回っており、学生にとっては有利な「売り手市場」が続きそうです。新4年生の皆さんには、すぐに結果が出なくとも活動し続ける、そして壁にぶち当たった時には自分で考え行動し、キャリアセンターを活用して欲しいと思います。

しばらくは現在の選考スケジュールが続くものと思われますが、世界情勢や政府の動向により、採用環境が急激に悪化することもあり得ます。採用環境が厳しくなっても「ぜひ採用したい!」と思わせる「社会人基礎力」や「教養」を、それまでに身につけておくことが重要です。その為の様々な入り口は大学の至る所にあるのです。自分の将来に不安や疑問、興味や希望があれば、いつでもキャリアセンターにお越しください。

2017年3月卒 進路状況 (2016年9月卒含む)

(2017.3.31現在)

卒業生数	1,359名 (※1,400名)
就職者数	1,118名 (※1,102名)
進学者数	7名 (※17名)
就職率	82.30% (※78.70%)

(※は昨年同時期)

2017年3月卒 就職者の内訳 (2016年9月卒含む)

就職者数		1,118名
内定	民間企業・福祉関係等(公務除く)	1,079名
	公務	39名
うち福祉職		52名

●編集後記●

「かけはし」vol.8は、いかがでしたでしょうか？教育後援会の活動が中心ですが、支部だよりでは、『ちょっとプチ紹介!』で地域の情報も掲載しました。広報委員長を務めさせていただき初めての「かけはし」発行となります。ご支援・ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

今後も教育後援会の活動を中心に種々の情報を発信していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

(教育後援会 広報 羽山 春美)

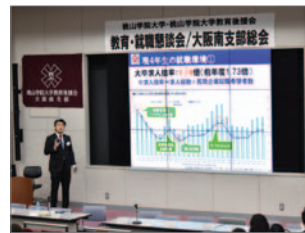
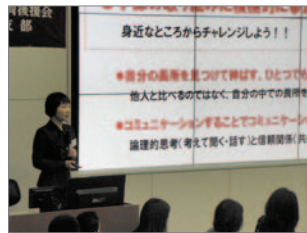
表紙写真：本学写真部

表紙題字：教育後援会 元副会長 佐藤静子



2017年度 教育・就職懇談会／支部総会日程

2017年度も、桃山学院大学教育後援会の主要な活動の一環である「教育・就職懇談会/支部総会」が全国各地において以下のとおり開催されます。ぜひ、ご参加ください。



開催日	支部（会場）	
6月4日(日)	大阪北	桃山学院大学
10日(土)	東海	キャッスルプラザ
11日(日)	奈良・三重	橿原観光ホテル
	山陰	米子全日空ホテル
17日(土)	四国	リーガホテルゼスト高松
18日(日)	広島	ホテルJALシティ広島
	大阪南	桃山学院大学
24日(土)	岡山	アークホテル岡山
	京都・滋賀	京都タワーホテル
25日(日)	北陸	ホテル金沢
	和歌山	アバローム紀の国
7月1日(土)	山口	山口グランドホテル
2日(日)	九州	ホテルセントリーザ博多
	兵庫	神戸三宮東急REIホテル

教育・就職懇談会／支部総会のプログラムスナップを以下のとおりYouTubeに掲載しています。
ぜひ、ご覧ください。

<https://youtu.be/-kl0n4AhwkA>

桃山学院大学教育後援会

大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL.0725(54)3131(代)
URL <http://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkai.html>